



～ PROFILE ～

氏名：片山 さやか  
(かたやま さやか)

出身：網走市



日々の活動をSNSで発信中！ 📧

@OTOFUKE.BUNSEN

これまでの経歴を教えてください！

5歳からヴァイオリンをはじめ、高校生までは網走の学校に通い、大学は沖縄の芸術大学に通っていました。大学卒業後は、網走市内にある中学校で特別教育支援員をしながら自宅でのヴァイオリンレッスンのほか、地域のイベントやコンサート等の演奏活動を行っていました。その後、新たな経験を積むために上京し、アマチュアオーケストラのトレーナーや複数の音楽教室でヴァイオリン講師、演奏活動などを行っていました。



📷 東京で活動されていたときの写真  
(中央が片山さん)

なぜ地域おこし協力隊に？



📷 イベントでのミニコンサートの写真

今までの経験を活かし、北海道で音楽活動をしていきたいと思っていたタイミングで、音楽によるまちづくりを進めている音更町で、弦楽部門の地域おこし協力隊の募集があることを知りました。北海道に住める、子ども達のヴァイオリン指導もできる、練習環境もある。今までやってきたことが活かせて、かつ、これからやりたいことが揃った仕事だったので、挑戦してみようと思いました。

## 日々の活動を教えてください！

音更高校管弦楽局や音更町伊福部昭記念ジュニアオーケストラで定期的なヴァイオリン指導をしています。子どもたちは素直でかわいし、どんどん上達していく姿が見られてとても嬉しいです。

ほかには、学校の音楽の授業で、教科書に掲載されている部分を実際にヴァイオリンで演奏して生徒たちに聴いてもらったり、学校を訪問した際に、町で備えたヴァイオリンを活用して子供たちがヴァイオリンを体験できる機会を設けたりしています。

また、いろんな方にヴァイオリンの演奏を聴いてもらえる機会を増やすため演奏会を行ったり、町内会や団体などから依頼を頂いて演奏しています。

音更町にゆかりのある作曲家、伊福部 昭 氏の音楽をテーマに開催している「音更町 伊福部 昭 音楽セミナー」は1年に1度のビッグイベントで、全国各地から100人近くの受講生が音更町に集まりました。



学校訪問演奏の様子

## 今後の展望を教えてください！

協力隊の任期は3年ですが、今の活動を3年で終わらせたくないなと思いつながり日々活動しています。

1つは、ヴァイオリンを体験できる場の提供です。何かに対して楽しいと思えるのはとても幸せなことだと思います。ヴァイオリンじゃなくても良いと思いますけど、私が提供できるのはヴァイオリンなので、ヴァイオリン体験会などを通じて単純に「ヴァイオリンを弾いて楽しい！」と感じてもらえれば、それが誰かにとっての好きなものの1つになればいいなと思うし、そのきっかけづくりをしていきたいと思っています。

もう1つは、将来的には自分の教室を持ちたいですね。今は地域おこし協力隊の仕事に支障がない範囲で個人的に数名だけレッスンをしているのですが、本格的に看板をあげて教室が出来たらと思います。実際に音更町に住んでみて、とても居心地が良いと思ったので、できればこのまま音更町で。私が教えた生徒さんが将来教える側として戻ってきて、教室を引き継いで続いていく・・・みたいな昔からあって今もあらずと続いている「なくなるらないヴァイオリン教室」にしたいです。



初心者ヴァイオリン体験講座の様子